

2022年度 第3回町田市男女平等参画協議会 議事要旨

日時： 2023年1月17日（火） 14時00分～16時00分

場所： 町田市庁舎2階 会議室2-4

出欠： 五十音順・敬称略

石阪 督規、岡本 直子、近藤 わかな、下田 幸子、茶谷 武志、椿 美智博、鈴木 悟、
高橋 陽子（10名中8名出席）
吉浦 和幸、渡邊 悦子（10名中2名欠席）

議事：

1 男女平等参画協議会 石阪会長 あいさつ

2 (1)一人ひとりがその人らしく生きるまちだプラン（第4次）の評価・意見の確認について
—事務局から、資料1「進捗状況全般における評価・意見について（案）」を説明—

【委員】女性管理職比率を高めるために示すロールモデルを、独身の方だけでなく子育てしている方など対象をひろげることで、誰でも管理職になれると思えるロールモデルを示すと良い。

【会長】市役所において子育てしながら女性管理職を務めている方はいるか。

【事務局】育休を経て、また子育てしながら管理職を務めている方は大勢いる。

【会長】男女問わずご自身がどのような働き方をしてきたかというロールモデルもあると参考になる。

【委員】男性の育児参加について、育児休業後も子育ては続くため、子どものイレギュラーに対応できる仕組みづくりが必要である。また、父子で参加できるイベントや休日の過ごし方などの提案をしていただき、男性の育児参加や父親同士のつながりができる機会を設けていただきたい。

【事務局】男女平等推進センターにおいて父子工作教室を毎年実施しており、他部署においても父子で参加できるイベントを実施している。様々なアプローチをしていく必要があると考えている。

【委員】ワーク・ライフ・バランス推進企業賞について、大企業と中小企業を別枠で設けるのはどうか。

【会長】受賞しているのは大企業が多いか。

【事務局】中小企業の方が多い。

【委員】中小企業も努力しているため、分けなくても良いと考える。基準の見直しは必要である。

【会長】資料1について会長へ一認していただいて良いか。➡承認。

(2)一人ひとりがその人らしく生きるまちだプラン（第5次）の進捗状況の確認方法について
—事務局から、資料2「第5次町田市男女平等推進計画 進捗状況確認方法案」を説明—

【委員】評価にDがついた場合、市役所の中における影響はあるのか。

【事務局】部長の評価に影響する可能性がある。

【委員】星の凡例の説明は記載されるか。

【事務局】手引きを作成し、各事業担当課へ送る予定である。

【委員】「町田市男女平等推進会議からの評価・総評」のA～D評価について、5年間の比較をすると良い。

【会長】最終報告の際、5年間の比較が分かるようにまとめると良い。

(3) 町田市パートナーシップ宣誓制度の導入について

―事務局から、資料3「市民意見募集実施結果（案）」、資料4「市民意見募集時点の条例・制度（素案）からの変更点・対応」、資料5-1「町田市性の多様性の尊重に関する条例（案）」、資料5-2「町田市パートナーシップ宣誓制度に関する規則（案）」、資料6「町田市パートナーシップ宣誓制度利用の手引き（案）」、次第「今後のスケジュール」を説明―

【委員】条例第7条に「教育に携わる者の役割」とあるが、この条例を根拠とし市としてしっかり研修をしていただきたい。

【事務局】教育委員会との調整の中で授業として扱うことは難しいが、生活指導主任向けの研修は可能との話を聞いている。この研修をきっかけに波及していきたいと考えている。

【委員】保育園・幼稚園の先生も対象と考えているか。また、保育園・幼稚園の先生向け研修は実施するか。

【事務局】保育園・幼稚園も対象であるが、まずは小・中学校向けに研修を実施していく。保育園・幼稚園については、保護者への啓発も必要と考えている。

【委員】保育園児・幼稚園児の無邪気な発言に対してどの先生も受け答えできるようになってもらいたい。

【会長】小・中学校中心に進めている自治体が多い中、幼稚園・保育園まで啓発となれば先進的な取り組みとなる。

【事務局】幼稚園・保育園含め、各部署へ周知していきたい。

【会長】近隣自治体とはどのように連携を進めていくのか。

【事務局】都内のパートナーシップ宣誓制度導入自治体とは制度導入時点で連携できる準備を進めている。隣接自治体である相模原市との連携については現在調整中である。

【会長】制度導入後も引き続き進めていただきたい。

3 事務連絡

今回で、今期2年間の協議会が終了となる。引き続き、市政にご協力いただきたい。

―各委員からご挨拶―

以上